

新聞販売業の皆さまへ

## 安全な新聞販売業務の進め方

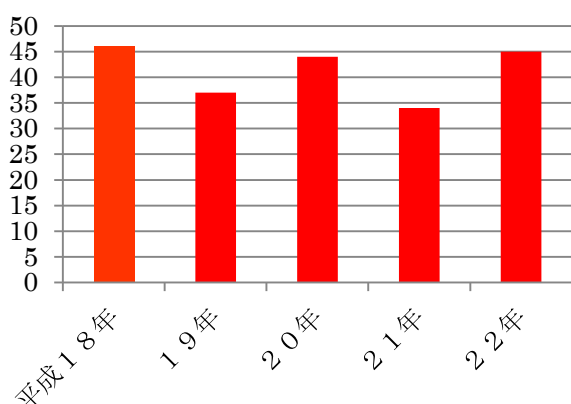
### 【配達中の交通事故、転落・転倒を防ぎましょう】

新聞販売業務中に、亡くなられた方、負傷された方の数はここ数年減っていません。

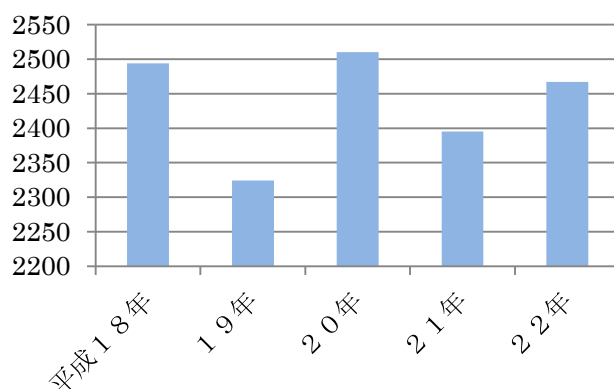
平成22年は亡くなられた方は45人と前年比11人増、休業4日以上死傷者数は2,467人と前年比3%増となりました。



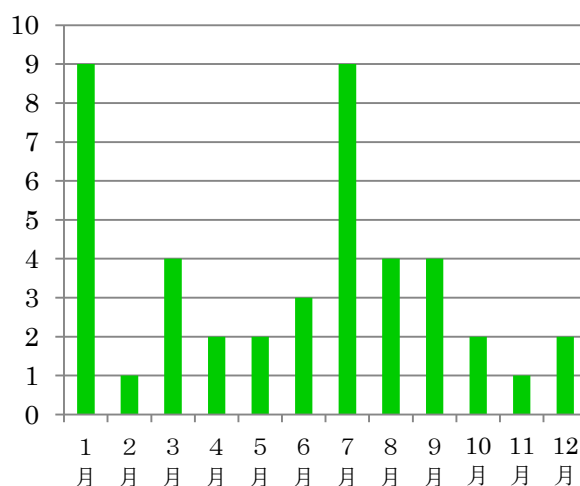
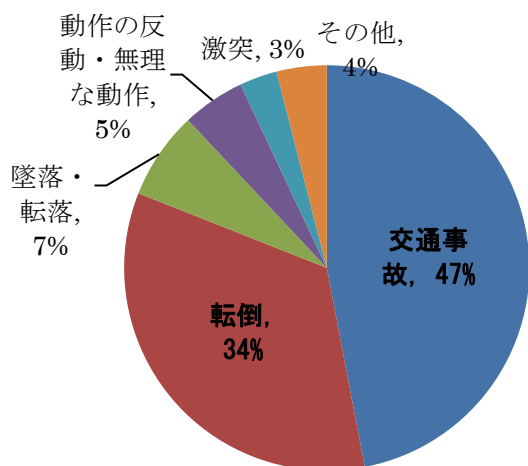
死亡者数の推移



死傷者数の推移



事故の型は、死傷者数の半数が交通事故(47%)、4割が転倒・転落(41%)によるものです。死亡者数はほとんどが交通事故によるもので、22年は1月と7月に集中して発生しました。



死傷災害(過去5年)の事故の型割合

死亡災害(H22)の月別件数

厚生労働省・都道府県労働局・労働基準監督署



「労働者の安全と衛生の確保」について詳しくは、次のホームページを参照、

URL : <http://www.mhlw.go.jp/bunya/roudoukijun/anzen.html>

または最寄りの都道府県労働局、労働基準監督署へお問い合わせください。

# 1 バイク運転中の交通事故を防ぎましょう

- (1) 交通事故の多くは、朝刊配達時、バイク運転中に交差点で自動車との衝突により発生しています。
- (2) この他、運転中に対向車線はみ出し、前方不注意、バランスを崩しての事故が発生しています。

## 「交通労働災害防止のためのガイドライン」に沿った対策を進めましょう

1. 労働災害防止は**事業者の責務**です。事業者は、対策を積極的に推進しましょう。
2. **労働者は、事業者が行う措置に協力し、交通労働災害防止に努め**ましょう。
3. 事業者は労働者に対して、雇い入れ時教育、日常の**教育を徹底**し、**交通法規の遵守**の徹底を図るとともに、交通労働災害防止のための**知識を付与**しましょう。
4. 事業者は、交通事故発生情報、ヒヤリ／ハット事例に基づき、**交通安全情報マップ**を作成し、配布、掲示、啓発等を行いましょ。
5. 事業者は、**異常気象時**には、走行の中止や安全な場所で一時待機する等労働者に**適切な指示**を行いましょ。

「交通労働災害防止のためのガイドライン」:

<http://www.mhlw.go.jp/new-info/kobetu/roudou/gyousei/anzen/dl/080703-1a.pdf>

# 2 配達、集金中の転落・転倒事故を防ぎましょう

## 転落・転倒災害防止のポイント

1. **滑り止めのある靴**を履かせて業務を行わせましょ。
2. 時間に**余裕のある配達計画**を作成し、慌てず、**足下に注意**して**階段の上り下り**するよう、繰り返し**教育を徹底**ましょ。
3. 事業者は、転落・転倒事故が発生した場所の情報、ヒヤリ／ハット事例に基づき、**ヒヤリマップ**を作成し、配布、掲示、啓発等を行いましょ。

## 災害事例

事故型	起因物	年齢	性別	概要
交通事故	自動車	68	男	バイクで朝刊配達のため走行中、右折したところ、十字路交差点で軽乗用車と出会い頭に衝突し、頭を強く打って死亡した。被災者側に一時停止の標識があった。
交通事故	バイク	44	男	バイクで朝刊配達のため走行中、前日の雨により路面が凍結していたため、スリップにより、電柱に激突して、死亡した。
交通事故	バイク	52	男	朝刊配達のため、バイクで市道を走行中、スピードの出し過ぎにより、ハンドル操作を誤り、道路に沿った深さ約3mの川に転落し、溺死した。
交通事故	トラック	24	男	小雨の朝、ビニール袋で梱包された新聞をバイクの荷台に載せて走行していたところ、新聞が荷崩れを起こし道路上に散乱したので、新聞を回収中、大型トラックに轢かれ、死亡した。
転落	階段	28	男	アパートの2階の配達先に朝刊配達の後、バイクに戻ろうと階段を走り降りたところ、誤って階段を踏み外し転落し、頭を打って死亡した。